

はもりあ

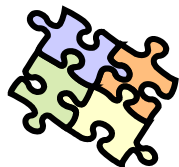
「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2008年11月1日発行

本町プラザを飛び出して、あさけプラザで開催したつどいよっかいち女と男^{ひとひと}。

集客は、こちらの希望する人数には達しませんでした。はじめてのあさけプラザでの開催だったにもかかわらず、たくさんの方にワークショップや市(いち)男性グループによる和風カレーを堪能していただきました。お昼前には、ご飯もパンもカレーも売り切れ。楽しみにされていた皆さんには大変申し訳なかったです。講演会は、仕事も家事もスーパーマン的にこなす佐々木常夫さん。仕事を精査して、本当に必要なものを選択していくお話は、全く自分自身出来ていないことなので、最も真似をしたい部分でした。



つどいよっかいちを開催しました(10/25)

つどいは、男女共同参画社会の実現に向けて、より多くの方に考えていただく場として、また、さまざまなグループや市民の方々との交流とネットワークづくりの場として、毎年開催しています。今回で16回目でした。

【ワーク・ライフ・バランス わたしの家族 子どもが描く絵と家族の写真の展示】

たくさん応募いただいた私の家族の絵。仲よし兄弟の絵だったり、家族全員大集合だったり、大好きなおじいちゃんおばあちゃんの絵だったり、一人ひとりの大切な家族があったかく描かれていました。また、ハッとすくい表情をとらえた素敵な写真を展示させていただきました。みなさん、ありがとうございました。

【とてもいい話だった講演会とパネルディスカッション】

午後の部は、オープニングをヒップホップダンスグループ「PUZZLE」に飾っていただきました。軽やかに、そしてイキイキと発表してくれました。その後続いた佐々木常夫氏による講演会「ワーク・ライフ・バランス 私は仕事も家族も決してあきらめない」は、お子さんの自閉症のこと、パートナーの病気のこと、仕事のことと、たくさんのお話を伺いました。長男をはじめとする3人の子育て、ご自身の度重なる転勤、そしてパートナーの看病と、人の何倍もの時間を生きているような人生を歩まれている佐々木さん。いかに時間を作るかという話では、パートナーの入院中は、平日は18時に帰宅して家事・育児、そして日曜日は一週間分の家事と病院通いをされていたことや、時間を効率的に使うため、出席する会議の資料は事前に受け取り、担当者からの事前説明は断り、わからないことだけ佐々木さんから質問する。また、会議は、本当に必要なものだけ精査して出席することのお話がありました。加えて、シンプル主義で、事務処理・管理・制度・資料は簡潔にする等々、仕事においても家庭においても私たちもぜひ取り入れたい話がたくさんありました。

パネルディスカッションは、三重県男女共同参画センターの鈴山雅子所長にコーディネーターをお願いして、佐々木常夫さん、経営者の立場から女性の活躍の場を保障している旭電気の前田光久さん、パートから工場長になり、女性の働きやすい職場づくりを実現することで生産性の向上にもつなげている日本ケミカル工業の館和美さんの3人で行いました。

市民のみなさんと事業者のみなさんと行政がそれぞれできることから取り組み、男女(みんな)が今以上にイキイキと輝くまち四日市になれば…と思う1日でした。



超基礎の料理講座 「はじめての台所」開催！

男性の料理というと、アウトドアだったり、凝ったものだったりというイメージありませんか。今回は、基本の「き」。包丁の握り方からはじめます。初心者のみなさん、月1回、みんなで腕を磨いてみませんか？

| 日程 | タイトル | メニュー |
|-------------------------|----------|---------------------------------|
| 12/13(土) 10:00～13:00 | 基本の「き」 | ごはん、味噌汁、しょうが焼き、キャベツの千切り |
| 1/17(土) 10:00～13:00 | 和食 | ごはん、肉じゃが、きゅうりの酢の物、じゃこ冷奴 |
| 2/21(土) 10:00～13:00 | 洋食 | 手作りピザ、コーンスープ |
| 3/7(土) 10:00～13:00 | 中華 | チャーハン、餃子、たまごスープ |
| 3/21(土) 10:00～13:00 | 大切な人を招こう | 炊き込みピラフ、野菜スープ、チキンのオープン焼き、簡単デザート |

対市内在住、通勤または通学中の男性（年齢は問いません。） 費各回800円 定10名(先着順)

所はもりあ四日市調理室 託児無料（事前にお申込みください）

全部、出席できない方は、下記までご相談ください。

問合せ・申込みはもりあ四日市 TEL 354-8331 FAX 354-8339

11/12～25は、「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、またどんな理由があったとしても許されるものではありません。特に、女性に対する暴力、性犯罪、売買春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題となっています。

【配偶者や恋人などから暴力などを受けた経験がある女性は、およそ4人に1人】

四日市市が、平成18年に行った意識調査では、配偶者や恋人などから暴力などを受けた経験が、『ある』人は22.4%で、およそ4人に1人の割合となっています。「医師の治療が必要となる程度の暴力」や「命の危険を感じるくらいの暴力」を受けたことがある女性も全体の2.8%います。暴力というのは、身体的暴力だけではなく、大声で怒鳴られる、暴言を吐かれる等の言葉の暴力、交友関係や電話を細かく監視する、生活費等を渡さずに経済的に押さえつける、これらもすべて暴力です。

【11月21日 女性に対する暴力防止セミナーを開催します。ぜひ、聴きにきてください！】

今回、「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせ、今、自分たちにできることは何かについて考える機会を持つために、三重県と共催で開催します。はもりあ四日市の鈴木相談員もパネリストとして参加します。ぜひ、ご参加ください。

“女性に対する暴力防止セミナー”

講演会 身近な暴力『殴るだけが暴力じゃない』

パネルディスカッション『今、地域や学校で起っていること』

11月21日（金）13:30～16:30 勤労者総合福祉センター 1階多目的ホール

当日自由参加（参加費無料） 託児あります（事前予約が必要） 問合せ：はもりあ四日市

日本女性会議2008とやま

参加しました

全国の女性や団体関係者が集まって毎年開催されている「日本女性会議」が、今年度は10月17日、18日の2日間にわたって、富山市で開催されました。17日の全体会では、内閣府の板東久美子男女共同参画局長からの基調報告があり、女性の管理職や研究職に占める割合について「先進国の中では、最下位であり、国の施策はまだまだ道半ば」というお話がありました。広岡守穂中央大学法学部教授の講演は、子育て中のパートナーとのやりとりや、ダウン症のお孫さんのエピソードを交え、自然な男女共同参画のあり方を示してくれるものでした。そのあとのシンポジウムも富山市出身の高橋はるみ北海道知事や岩田喜美枝資生堂

日本女性会議
2008とやま

気持ち
つなごう

URL <http://www.2008toyama.jp/>



副社長らが登壇し、とりわけ資生堂の企業内での先進的な取り組みは興味深く、子育て中のスタッフを支援するため代替要員を必ずつける、パートナーが転職する際には、別居しなくてもいいよう配置転換をするなど、非常にきめ細かい内容でした。「ワーク・ライフ・バランスは、企業経営にとって、時間当たりの生産性が上がるのだからプラスであり、決してマイナスではない。」という言葉に勇気づけられました。

18日は市内の各施設で、15テーマの分科会が開催されました。はもりあの登録グループから応募された代表の方にも2日間を通してご参加いただきました。

今月のおすすめ本

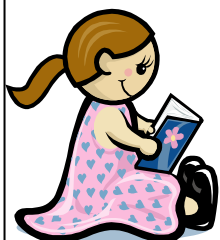
図書コーナーには「家族と家庭」をテーマに収集した本のコーナーがあります。今月は、「女性に対する暴力をなくす運動」の実施月です。それにちなんで、DVに関する2冊の本を紹介します。

「デートDVってなに？」

DVは、結婚している大人だけの問題ではありません。あらゆる年代で起きる問題です。恋人関係にある若者間暴力（デートDV）の実態とは、その影響は、対応や支援はどうすればいいのか等が、コンパクトにまとまっている1冊です。全部で116ページしかないので、すぐ読めますよ。

「誰にも言えない夫の暴力」

暴力は、「何があっても許されないこと」です。どんな理由があってもです。この本では、なぜ暴力は生まれてくるのか、夫の暴力から逃げる難しさなどが書かれています。また、法律相談Q & Aも載っていて、目次を見れば、知りたい部分だけ読むこともできます。



今月のキーワード

ドメスティック・バイオレンス(DV)

ドメスティック・バイオレンス(以下DV)とは、直訳すると「家庭内暴力」ですが、日本で家庭内暴力というと、子供が親に対して振るう暴力と取られがちなため、「夫や恋人からの暴力」と訳されています。DVは、男性の年齢や教育レベル、職業に関係無く起きています。DVは、男女の不平等な力関係から生まれます。日本においては、女性の経済的自立が、男性に比べてはるかに困難な上に、いわゆる性的役割分業(家事・育児は女の役割)が根強く残っており、夫から妻への暴力は大目に見られがちでした。DVは、直接的に暴力を受ける女性だけでなく、その子供たちにも深刻な影響を及ぼします。直接父親から暴力を振るわれなくても、母親に対する暴力を目の当たりにさせられること自体が、子供に対する暴力であるといえます。また近年は恋人同士など、若者の間の暴力も問題になっています。

女性に対する暴力根絶ロゴマーク



登録グループイベント情報

- 11月15日(土) 「あさひっこサロン・中央」
地域の方とふれあい、お仲間を作りませんか?
時 10:30～11:45 費 500円 所 総合会館3階
問 健康サポートあさひっこ 草川(090-8863-6286)
- 11月16日(日) だめママクラブ「人と違う私」
「だめママクラブ」は、自分の気持ちを話す場所です。予約はいりません。お子様連れでどうぞ。
時 10:00～12:00 費 300円 所 はもりあ四日市 会議室
問 ままたまご 水谷(080-5166-9864)
- 11月27日(木) 「復活 夜のおしゃべり会 この人の話が聴きたい」
四日市市出身の、活躍されている方のお話を聴いて、パワーをもらいましょう!
テーマは、「私のチャレンジ ～仕事と子育て～」です。
時 19:00～20:45 費 500円(お茶とお菓子代) 所 はもりあ四日市 こどものへや
師 野崎多巳子さん 他 託児あり(有料、要予約)
問 はもりあ四日市 または NPO 法人四日市男女共同参画研究所 堀田(FAX326-8514)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、アラノン AC さんです。

アラノンAC

連絡先 NPO 法人アラノンジャパン GSO (AJGSO)
TEL 03-5483-3313
<http://www.al-anon.or.jp/>
アラノンジャパン関西 (AJ 関西 ISC)
TEL 06-6774-6881

アラノンは、アルコール(または薬物)の問題を持つ人の家族と友人の全国的な自助グループです。子ども時代に家族のお酒や薬物問題がある中で育った方、同じ経験を持つ仲間の中で心を開いて話し合いませんか?
毎週木曜日 19時45分～20時45分まで、はもりあ四日市会議室でミーティングをしています。
アラノンでは、プライバシーをもっとも大切にしています。安心してご参加ください。

お詫び

はもりあ4号にて、男性向けスイーツ講座を今月号でお知らせすると掲載しましたが、大変ありがたいことに現段階で定員に達しました。大変好評だったため、追加で日程を設定しましたが、そちらも瞬間に定員に達しました。詳細をお知らせできず、申し訳ありません。

なお、講座の様子は、ホームページに掲載予定ですので、ご期待ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>